

# 錠前の取扱上の注意事項

【取付けをされる業者の皆様へ】 本書は必ず御施主様へお渡し下さい。  
取付要領は裏面または別紙取付説明書を参照して下さい。

当社製品をお買上げいただきありがとうございました。

製品を正しくご使用いただくために、この「錠前の取扱上の注意事項」をよくお読み下さい。

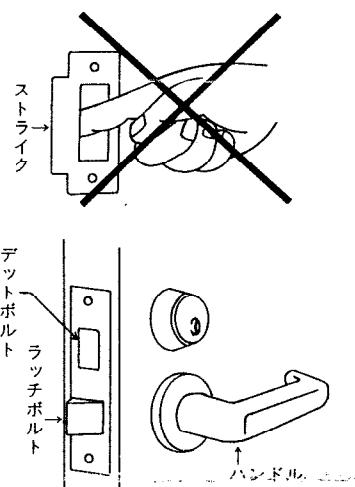
お読みになられた後は、本書はなくさないよう大切に保管下さい。万一、ご使用中にわからないことや不具合が生じた時にご参考下さい。

## A. 危険防止のために



## 注 意

- ①錠前の受け金具(ストライク)の穴や切断面に指を入れたり、触れないで下さい。又、錠のラッチbolt穴に指を入れないで下さい。指を切ったりケガをする恐れがあります。
- ②錠前のハンドルやノブ、ラッチbolt、ストライクにぶつからないように、気をつけて下さい。当ってケガをしたり、衣服を引っ掛け転倒したりする恐れがあります。ドア付近でのお子様の遊びや、ドア付近に身体のご不自由な方や、お年寄りが立ち止まっていたりしないよう、保護者の方はご注意下さい。
- ③ハンドルやノブにぶらさがったり、足場にしたり、物品を吊り下げるなりしないで下さい。危険ですし、錠前が正常に機能しなくなる恐れがあります。
- ④鍵穴に油や異物を入れないでください。鍵の操作ができなくなります。鍵の抜き差し、回転の操作がスムーズに動かなくなったら、鉛筆の黒芯の粉(黒鉛粉)又はシリンダー専用潤滑剤を鍵穴に入れて下さい。油の使用はホコリを吸着し、動かなくなる原因となります。
- ⑤ドアを開扉している時はデットbolt(かんぬき)を出さないで下さい。デットboltの突起が身体に当る危険があるばかりでなく、受け金具や棒を傷める錠の作動不良の原因となります。
- ⑥鍵は住所・建物名等の分かるものと一緒に、財布や定期券入れ等に入れないようにして下さい。紛失した時に悪用される恐れがあります。



## B. 永くご使用して頂くために(メンテナンスについて)

- ①錠前、受け金具、ハンドルやノブなどの取付けネジに緩みが生じたら、ネジの増し締めをして下さい。
- ②メーカーの純正キー以外の複製キーをご使用の際は、キーのバリ、精度いかんによっては、シリンダーの作動に影響をおよぼすことがありますので注意して下さい。
- ③錠前の表面に金属装身具等で傷を付けないよう注意して下さい。傷の部分から変色したり腐食する場合があります。
- ④錠前は時々、やわらかい布で空拭きする程度の掃除をして下さい。錠前の表面に汚れ、ほこりなどを付着したまま放置しますと変色、腐食します。掃除の際、酸やアルカリ、塩素などの化学薬品等で洗浄しないで下さい。又錠前に直接水をかけないで下さい。
- ⑤錠の掛け忘れないよう、必ず確認して下さい。施錠忘れによる盗難が多くあります。
- ⑥錠前は分解、改造しないで下さい。中の部品が飛び出して思わぬケガをしたり、正しく組立て直すことが出来なくなることがあります。
- ⑦ドアがゆがんだり、吊り下がったりして錠がスムーズに動かなくなった場合は、速やかに建物管理者、建築施工業者へ修理依頼をして下さい。また、錠が故障した時は建物管理者、建築施工業者または当社へ修理依頼をして下さい。
- 故意による錠前の破壊、破損における事故については一切責任を負いかねます。

### ・お手入れの方法

- イ、日 常 的 に 乾いた柔らかい布で空拭き。
- ロ、汚れが目立つとき 水を含ませた柔らかい布をよく絞って拭く。
- ハ、汚れがひどいとき ①柔らかい布に中性洗剤を含ませて拭く。  
②水を含ませた柔らかい布をよく絞って中性洗剤を拭き取る。  
③乾いた布で水分を拭き取る。

\*拭く時はゴシゴシこすらず軽く拭くこと。